

場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集			
原子炉建屋内	R B	Y	3			1	時間
タービン建屋内	T B					2	距離
R ZONE	R					3	遮へい
Y ZONE	Y					4	線源の除去
G ZONE	G					5	遠隔、ロボット化
その他	Z					6	汚染拡大防止
( )						7	その他
				番号	02-01		

内 容 高線量エリアにおける地盤改良工事の遮へい対策

作業場所 1号原子炉建屋および1-2号機排気筒の周辺

概 略 高線量線源である1-2号機排気筒からの被ばく量を抑えるため、遮へい壁設置の工学的対策と、カメラモニター設備による管理的対策を行い、被ばく量を低減した。

評 価 (定性 定量)	効 果	対 策 前		対 策 後	
		被ばく線量(mSv)	933.5	428.6	
		人工数(人日)	—	—	

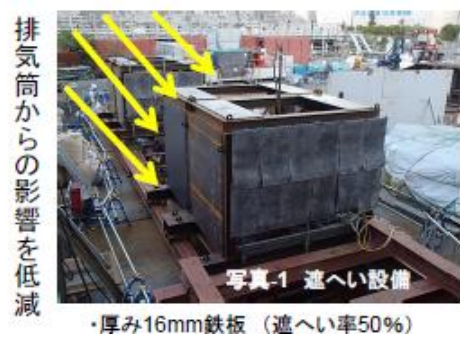
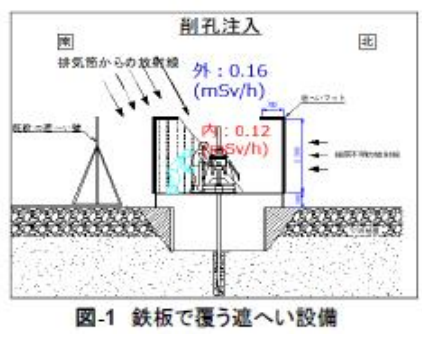
事例詳細

対策前 1号原子炉建屋および1-2号機排気筒周辺は高い空間線量率であり、多くの被ばく量が懸念された。

対策内容 地盤改良作業員の被ばく低減対策として、線源方向を考慮した遮へい壁の工学的対策。

現場職員の被ばく低減対策として、カメラモニター設備を既存の遮へい設備に設置利用した管理的対策。

- ・工学的対策（線源を考慮した遮へい壁構造による被ばく低減対策）



- ・管理的対策（既存の遮へい設備を利用したカメラモニター現場管理による被ばく低減対策）

